



AMX-011 'ZAKU-III'

NEO-ZEON PRODUCTIVE MOBILE SUIT

© 創通・サンライズ

MODEL NUMBER : AMX-011
 TOTAL HEIGHT : 23.1m
 WEIGHT : 44.2t
 TOTAL WEIGHT : 68.3t
 GENERATOR OUTPUT : 2150kw
 THRUSTER GENERAL OUTPUT : 172600kg
 SENSOR EFFECTIVE RADIUS : 9700m
 MATERIAL : GUNDALIAM ALLOY COMPOSITE
 ARMAMENTS : HEAD BEAM CANNON
 BEAM CANNON (BEAM SABER)
 BEAM RIFLE
 HEAT SABER



COLOR GUIDE

※よりリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご覧ください。
 ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
 ●このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー等をお使いください。

- 本体等：
 - ニュートラルグレー (70%)
 - +ミッドナイトブルー (30%)
 - +インディブルー (少量)
 - +モンザレッド (少量)
 - ※または、ガンダムカラーグレー1
- ココピットハッチ：
 - モンザレッド (100%)
 - ※または、ガンダムカラーレッド1
- ビーム・ライフルスコープ部：
 - 蛍光グリーン (100%)
- 頭部、腕部、脚部等：
 - ホワイト (95%)
 - +ニュートラルグレー (5%)
 - ※または、ガンダムカラーグレー14
- 銃剣：
 - スカイブルー (100%)
- 関節、バックパック、ビーム・ライフル等：
 - ミッドナイトブルー (70%)
 - +ニュートラルグレー (15%)
 - +ブルー (15%)
 - ※または、ガンダムカラーグレー15
- ビーム・ライフルパイプ部、バーニア内部：
 - モンザレッド (100%)
 - +ブラック (少量)

1/144 SCALE

HG
 UNIVERSAL CENTURY

BANDAI 2000 MADE IN JAPAN

写真の完成品は、塗装してあります。

BAN
 DAI

AMX-011 “ZAKU-Ⅲ”

「ザクⅢ」は、一年戦争終結後、アステロイドベルトに潜伏していた旧公国軍残党であるアクシズ=ネオ・ジオンが、“ザク”系の最終型として開発したMSである。この機体は、開発当初から広範な汎用性の獲得を目的としており、多様なオプションも並行して開発されていたが、試作機のロールアウトが総合性能で勝るAMX-014ドーベン・ウルフの完成と同時期であったため、本格的な量産は行われていない。頭部ユニットやバックパック、リアスカートアーマーなどオプションも多彩だが、専用ビーム・ライフルの開発が遅れていたため、実戦投入に際してはAMX-104 R・ジャジャのもの流用されている。ちなみに、グレーを基調とする一般型の機体色は、一年戦争時のエースパイロットのパーソナルカラーがベースであるという説もある。

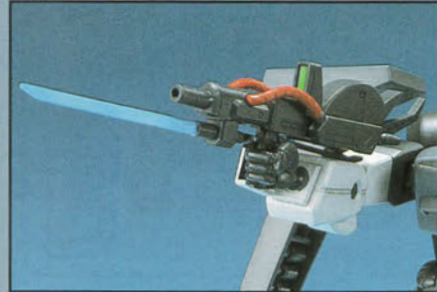
頭部ビーム・キャノン
ザクⅢの一般型は口吻部分から高出力のビームを発射する。



ビーム・サーベル/ビーム・キャノン
ザクⅢの標準兵器。腰部フロントアーマーは2門の強力なビーム・キャノン内装している。

SPEC
型式番号：AMX-011
全高：23.1m
本体重量：44.2t
全備重量：68.3t
ジェネレーター出力：2150kw
スラスター総推力：172600kg
センサー有効半径：9700m
装甲材質：
ガンダリウム・コンボジット
武装：頭部ビーム・キャノン
腰部ビーム・キャノン（ビーム・サーベル）
ビーム・ライフル
ヒート・サーベル

▼**ビーム・ライフル** R・ジャジャ用と同型のビーム・ライフル。銃剣としてヒート・サーベルが装備されている。



◀**ビーム・サーベル**
フロントアーマーに装備されたビーム・キャノンのパレルユニットが強力なビーム刃を形成する。

▶**オプションラック**
シールド裏面には予備のビーム・サーベルおよびクッカーなどが装備されている。



るが定かではない。この機体は汎用性の高い機体で、2門の強力なビーム砲を固定武装としている。フロントスカートアーマーに装備されるこの武装は、パレルユニットをビーム・サーベルとして運用することも可能で、基本的には長距離戦闘から近接戦闘までノンオプションで対応することが可能である。一般型のザクⅢは重力下での運用も想定されており、無人SFS（サブ・フライト・システム）であるベスジャパーとのコンビネーションを強化するため、頭部には複数のアンテナが装備されている。また、バックパックにはプロベラントタンクと可動式のバーニアスラスターが装備されており、稼働時間の延長とともに、より高機動での戦闘を展開することができる。

ショルダーアーマー

コクピットハッチ



バックパック
プロベラントタンクが一体化されたフレキシブルバーニアスラスター。高い機動性を機体にもたらす。

ヒールクロー

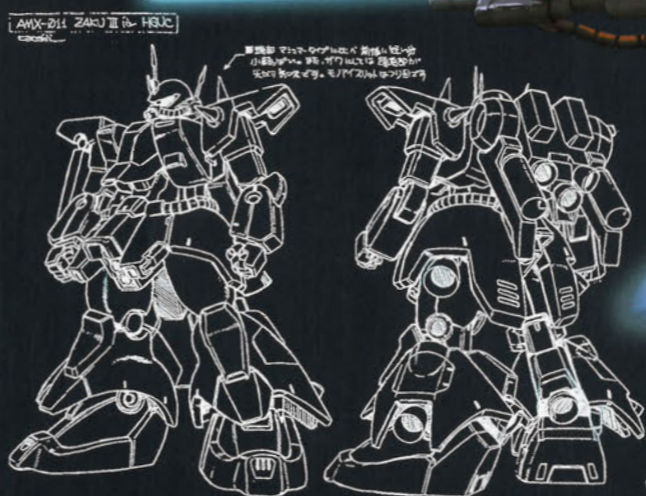


AMX-011 ザクⅢ

ザクⅢは、汎用性の高い高性能な機体に各種オプションを装備することで多様な戦況に対応可能なように設計されている。一説には、連邦製のRMS-106ハイザックを見たアクシズの技術者が、それを名機“ザク”の後継機とは認めず、“公国軍”としての威信を賭け、正当な後継機として最新技術を導入して開発した機体だとも言われている。実戦に投入されたのはU.C.0088年10月31日で、グレミー・トトに代わってミンドラの新艦長として赴任してきたラカン・ダカランが、ダブリンへのコロニー落しに際し、エウゴとカラバによる避難民の救出作戦を妨害するための戦闘におけるものであった。この時、ラカンの駆るザクⅢはZZガンダムと交戦し敗退している。後にラカンはグレミー軍に恭順し、ドーベン・ウルフへと乗り換えている。その後、一般型ザクⅢは、グレミー軍によって数機ほど運用されていたが、最終的にロールアウトした機体総数は不明である。（撮影協力：ホビージャパン）



■AMX-011 ZAKU-Ⅲ（ザクⅢ）
デザインワークス（コンセプトデザイン：カトキハジメ）



「ザクⅢ」のリニューアルデザインにおいては、“ザク”系のモビルスーツの中でも重量感あふれる独特のプロポーションの再現をふまえて、フロントスカート部ビーム・キャノンなどの可動ギミックや、機体各部のディテールの再現が重点的なポイントといえる。（コンセプトデザイン：カトキハジメ）

警告 (けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

●小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意 (ちゅうい)

●縁部が鋭い箇所がありますので、注意してください。●先端が尖っている箇所がありますので、注意してください。●部品はきれいに切り取り、切り取ったあとのクズは捨ててください。●袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

《組み立てる時の注意》

●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。

●部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。

●塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。



・塗装をするところの線



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側と同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・切り取るところ



・部品を数値の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



・数値に合わせて回転させます

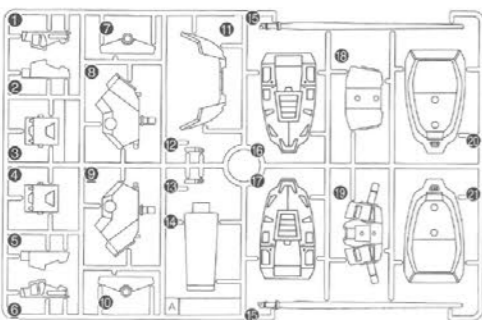


・どちらかを選んで取り付ける

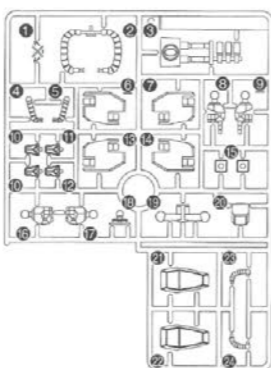
パーツリスト

●シール……1

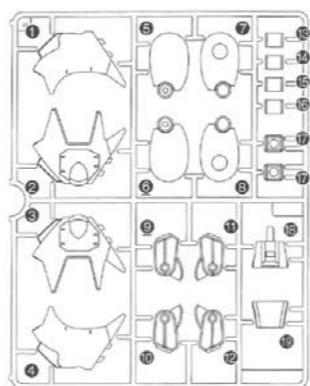
Aパーツ (スチロール樹脂: PS)



Cパーツ (スチロール樹脂: PS)



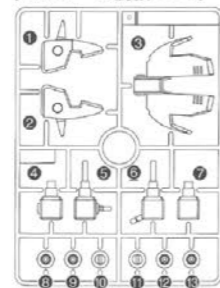
D1パーツ (スチロール樹脂: PS)



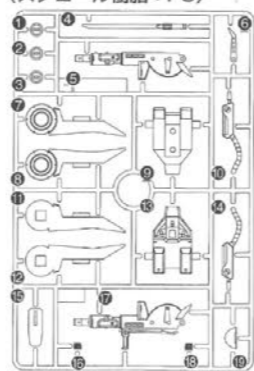
D2パーツ (スチロール樹脂: PS)



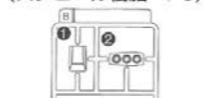
Gパーツ (スチロール樹脂: PS)



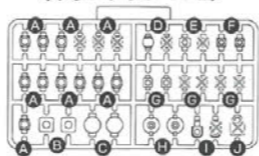
Hパーツ (スチロール樹脂: PS)



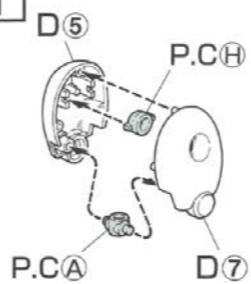
Bパーツ (スチロール樹脂: PS)



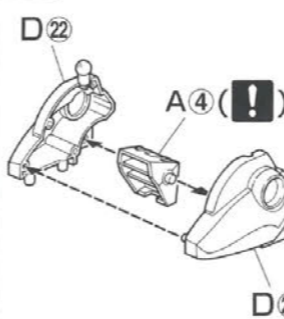
《P.C-111》 (ポリエチレン: PE)



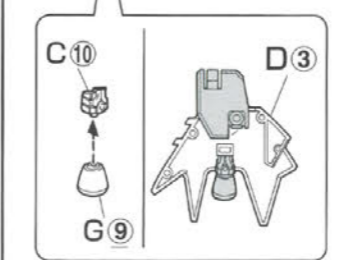
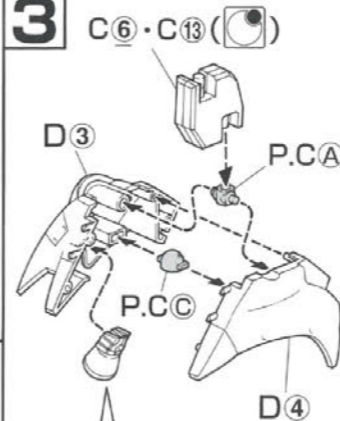
1



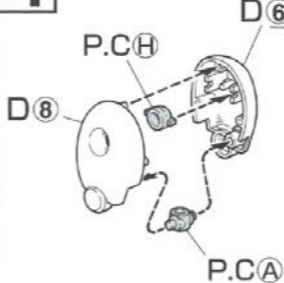
2



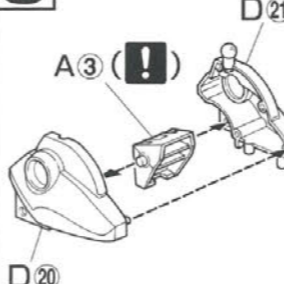
3



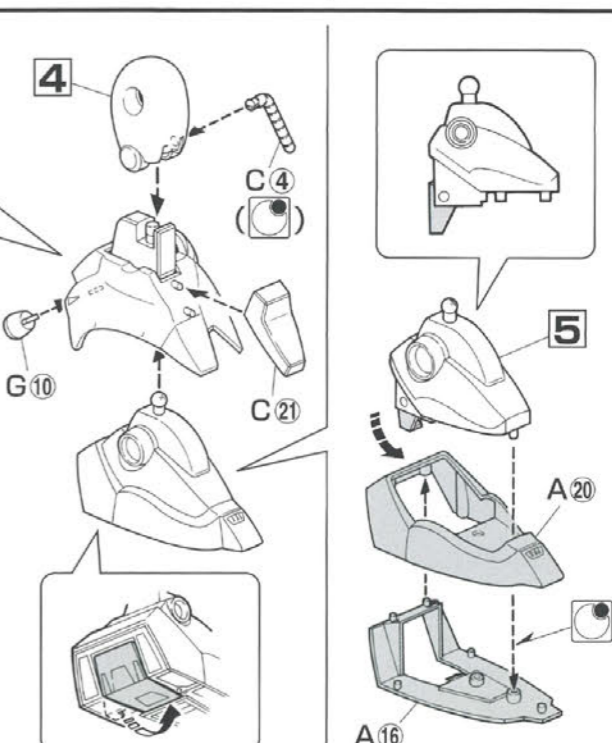
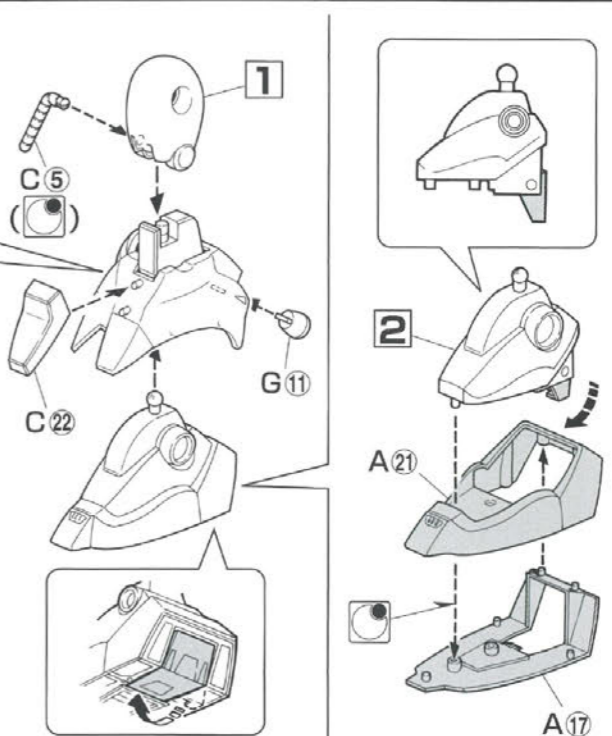
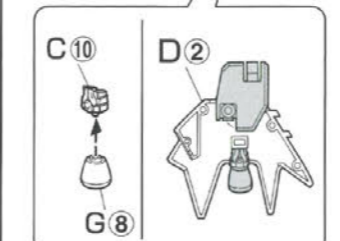
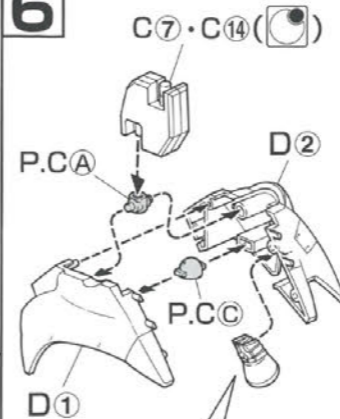
4



5



6



7

